

学校教育目標	○自ら学び伸びる (知) ⇒ 学び合う過程『課題をもつ』『筋道を立てて考える』『活用する』『振り返る』のサイクルを大切にし、一人ひとりの学びを伸ばします。
	○共に生きる (徳・公・開) ⇒ 豊かな人間関係を築くため、互いに認め合い支え合うとともに、地域社会や広い世界と関わりながら、平和や人権を大切にして生きていく力を育てます。
	○健やかな体をつくる (体) ⇒ 自他の生命を尊重し、健やかな体を育てます。
学校概要	創立 75 周年   学校長 安田 慎司   副校長 大石 敏寛   3 学期制   一般学級: 15   個別支援学級: 4
	児童生徒数: 533 人   主な関係校: 不動丸小、今宿小、白根小、今宿南小、本宿小、鶴ヶ峯小

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	鶴ヶ峯中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自分で判断し、進んで行動する力」 ・課題を認識し、協働的に解決策を見だし実行することにより、自らの生き方を追求する姿勢 ・ものごとを多面的・総合的に考え、主体的に社会参画し、よりよい社会を創る態度	鶴ヶ峯中学校 不動丸小学校	<自分で判断し、進んで行動する児童・生徒>  学力: 基礎基本を大切にし、他との学び合いを通して確かな学力 共生: 人や自然とのふれあいを大切にし、お互いを認め合い支え合って生きていく力 健康: 自他の生命を尊重し、健康な体づくり

中期取組目標	<p>○「主体的・対話的で深い学び」となるような授業を目指すなかで、生徒一人ひとりが未来を切り拓くための資質・能力を育成でき、自身の学びが実感できるように支援します。</p> <p>○温もりのある教育活動の中で、コミュニケーション力を高めるとともに、自他ともに大切にする心と体の育成を図ります。</p> <p>○特別支援教育の視点を重視し、ユニバーサルデザインを大切にしたい個に応じた支援体制の充実を図ります。</p> <p>○学校運営協議会を中心に、家庭・地域・関係機関との連携を図り、社会全体で子どもたちを育成する環境づくりを進めます。</p> <p>○生徒や保護者・地域の要望と教職員の働き方改革の推進とのバランスを図りながら、PDCAサイクルに基づいた学校運営に取り組みます。</p>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知	求められる資質・能力を身につけさせるべく、必要な知識を伝え、教科等の特性を踏まえた上で主体的・対話的で深い学びの視点や「考える授業」を展開します。また、ICT等を用いた授業方法について教職員が互いに情報交換をしながら、授業力向上に努めます。
担当 研究部学習係	
<b>徳</b> 豊かな心	道徳では、対話的な学習を通して、道徳的諸価値を多面的多角的に深く捉える時間とします。人権作文に全校で取り組むと共に「国際理解」をテーマに人権講演会を行い、人権に対する意識を高めます。学校行事や学習場面で、誰もが主人公になる場面設定をし、自尊感情を育てていきます。
担当 研究部道徳係	
<b>体</b> 健やかな体	生徒の実態に応じた保健教育を行い、心と体の健康を目指します。思春期に起こり得る健康課題に向き合い解決できるよう、生徒・保護者と寄り添いながら考えていきます。あわせて、生徒自身が生涯健康で過ごすためにはどうしたらよいかを考え、実行できる力を育てる3年間にします。
担当 保健指導部	
<b>公開</b> 地域学校協働活動	学校と地域をつなぐ取組の充実を図り、多くの生徒が地域と関わることができるよう工夫します。地域コーディネーターとの連携し、地域の力を学校へ取り入れます。学校運営協議会を通じて、地域や関係諸機関との連携により本校の課題解決の方法を探り、生徒の健全育成に努めます。
担当 学家地・学校運営協議会	
<b>いじめへの対応</b>	いじめの早期発見のために、生徒見守りの強化、いじめアンケート等による実態把握の機会を増やします。未然防止のために、社会的スキル向上を目指した取り組みを行います。隔週でいじめ防止対策委員会を実施し、情報交換や指導方針の検討を行い、いじめに対し組織的に対応します。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b>	メンターがメンティーより具体的な助言を受ける機会を定期的に持つと共に、教職員がそれぞれのステージにおける人材育成を意識し、経験の浅い職員の資質・能力のレベルアップを図ります。昨年度見直した学校運営組織が持続可能な体制となるように、さらなる改善を図ります。
担当 管理研修、教育課程、管理職	
<b>生徒指導</b>	温もりある指導を目指し職員の共通認識を高める研修やSNSや発達障害・不登校などの研修を積み重ねます。年間予定の教育相談と共に、日常から生徒との関係作りを進めることで生徒が抱える諸問題の予防・早期発見に努めます。YPプログラム等を使い積極的生徒指導に取り組みます。
担当 生活指導部	
<b>特別支援教育</b>	学習相談会を定期的に開催することで、学習の遅れやつまづきを感じている生徒への支援体制を整えます。また、特別支援教室における職員体制を整え、段階的な目標設定を中心に、生徒一人ひとりの実態に応じた指導計画・支援計画を策定します。
担当 特別支援委員会	
<b>学びの場の連携</b>	小中一貫ブロックにおいて、目指す子どもの姿や育む力を共有し、前の段階での教育が次の段階で生かされるよう、教育課程等の円滑な接続を図ります。小中間の情報交換や研修会などの取組を通して、学びの場のさらなる連携を図ります。
担当 教育課程委員会	
<b>防災・安全教育と管理</b>	小学校と連携した防災訓練を実施し、家庭や地域、学校が一体となって、自然災害に対する理解を深め、災害に備える力を育みます。各学年で防災の時間を設定し、学習の積み重ねを行います。また職員の危機管理意識を高め、安心・安全・信頼される学校を目指します。
担当 保健指導部	